

協議会

二六・二七・二八日 午後五時三十分より

於役場会議室

出席者

議員 別紙の通り

役場側 町長 助役 収入役

総務 税務 民生 各課長

書記 高水 上野

町長 年未なので先より一人宛五〇〇円の手当を要求して来たので都々職員である先生

に支給するよりはよからうから人数の割合によりP.T.A.に交付の形とりま

すから仰承知願いた

議長 全員異議があるのを決定する

町長 又に対する業人天に対する手当であるが町町長会及び議長会では出さ

るより天定にして 夙因によれば手当を一〇〇〇円外に地下足袋代

と西女求てゐるらしい 尚私所へは三〇〇〇円の借入申込が二十八名来て

ゐる 七月の時は三〇〇〇円宛借したのが全部返済してゐるので何等の

形で補助してやりたい

中電 その要求は来たか 又七月の時はどうしたか

町長 三〇〇〇円の要求は来ないが借入の要求は来てゐる 七月の時は借用証で貸付けた

中電 昨年の時はどうしたか

町長 一万円位はだいたと思ふ(認額)

船木 七月の時の様に——たう考へてもよいと思ふ

町長 失業対策事業運営につて都よりの文書朗讀

天対予業人夫に平当をよす等の事は他よりの影響目が大であるから嚴に
つゝしんどもらいたい 尚要求して来る際は他と緊密に連絡してやつて
もらいたい

瀬古 貸付けすることは今の文書の趣旨に反すると思ふが

町長 反すると思ふ

中望 福生地区の労働者は非常によくやつてゐる

瀬古 貸付けは——ない方がよい

船木 町長としてでなく個人名で貸付け請約書を取つたらどうか

森田 七月の時はいくらづか返したか

町長 一日二万円宛である

船木 出来れば二万円位借してもらふと思ふ

150.2

瀬古 終戦後の第三号人たる彼等の態度より——同情の余地がない

町長 約束手形が何かで借付けたらどうか 返済については確実とはいへ得ない
いのてその場合は町で補償の処置をとつて頂きたい

町長 一任の事多数あり

町長 今後各議員の家へ個別訪問するかも知れないがその時は強硬に拒

絶して頂きたい

田村 裁 其の仲——については町長一任

異議なしの事あり

町長 三王橋西の道路は地主の要求が五万円と不満としてゐるが中止してゐる
すので御承知願ひたい

2. 永田橋際から行つた所の渡船場、所に水防倉庫の敷地と借
りた——日 都より申入があつたので借賃——

3. 二十三日に米軍クリスマスに当り貧困者の児童を——町に集めて基地に行き
歸りはおみやげと呉れる予定がある

二十四日には保育園の子供に自動車に乗せて持つてきてくれることになりつゝある尚当日七時より聖天祭の行なりと当所駅前より行かうが町当局として宗教的行なりに参加出来ないので商工会に依頼して貰ふ。

前後

店頭裝飾コーラールと十二月三日日におおすので御承知下さい。
瑞穂より工務所の買入方と田村議員と通じて申込んできたがニ万円と云う話なので見に行つたら十五万円を買つてもらいたい旨話があつたので御いはん願つた。

船木 向うに置いた儘でよいのか

町長 その通りでよろ。

村野 買つておいて後で西多摩なども共同で建直したらどうか

町長 それでは新現の方がよいと思う。

議長 買つるに決定いたしますか

町長 金庫もあるし煙突も相当すると思う。

町長 それでは今から一々女へするやうにして交渉しよう。

次に都市計画委員会会の通知が全議員にわたるが譲りか

都市計画委員会のみでよい。

船木 固定資産税の評価の時町民は同心が薄く今が今更目かおたかそれに対し異議申請するも又異議申請は受け付けられなうか。

町長 現在一、二名来てるがあまり来ない異議申請は受け付けられなうかと原則とする。

町長 小中学校にある消防団防けりも教員住宅として活用したい。

議長 諸所は本所の所有なのでこちらに交渉して頂きたい。

ブロックとして政務研究会と一月二日頃迄に補正を附きたい。月提案されてゐるが通知がいつたか全議員に希望したい。

当日の議題の提出者として二十五日迄に報告する。ブロックで提出して頂きたい。

多ク民報より年賀の詞を掲載する様申入が有ったが如何
するや

全員同意する

議長 町長 (100円の申込金) 決定する

次に議員手帳一部100円を購入方用入が有ったが如何するや

全員購入に賛成する

議長 西多摩郡の人物誌を作るのに申込みの者に至るまで用込

小たい

鮎沢

申込に不賛成

貴刊

議長 向うから来た西女に日

終了 七時三十分

昭和	27	年	1	月	21	日	決裁	昭和	27	年	1	月	21	日	発行	淨	寫	校	合
昭和	27	年	1	月	21	日	起案	課	起案者	係主任	係員	課長	課長	課長	課長	係主任	係員	校	合
町長																			
助役																			
福																			
第																			
号																			

年 月 日

町 長 名

議会議員各宛

福生町議会協議会開催につき

福生町議会協議会に来る一月三日前午後一時より本町役場会議室で開催致し、また、差障
差障を申し出るに、これより通知する。

三寸三分
生、

田村政一
石川武雄
森田喜一
牛上頼太郎
田村福一
設樂美知
瀨古清藏
高橋三郎
中野七五郎
賀斗伊作
野島毎
村尾種吉
船木甚平

福生所議會議員名目法

（昭和十七年一月二十三日定臨）
（協）
（三）

26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14

中退

中退

並木竹松
森田幸藏
橋本雄一
土梅泰輔
田村幾太郎
森田誠重
龜沢美代子
村野喜平
村野盛一
村尾四郎
西村節
田村利一
高橋彦市

夏者西金鳳祥公田谷場

昭和三十一年一月三日

福生町長 加藤 市 鑑

福生町議会議員

殿

福生町議会協議会開催について

右協議会を来る一月三日午後一時より本町役場第一会議室で開
催致すから一ノ障差繰りや出席下され度と通知致す
ます。

昭和二十七年一月三十一日

協議會議題

1. 昭和二十七年年度の於て重層的に採用すべき事業について (町長名義会長 五万四千支店)
2. 福生駅東口周設祝賀について (町長名義会長 五万四千支店)
3. 火葬場の買収並に運営方法について (委員選定 浅田一仁)
4. 横田基地内於て四号線開放要請について (報告)
5. 第三分団手帳がリンボに置き設置に關する指差しを附録について (決定)
6. 才三小學校遊戯場用すぶりの購入指差しを附録について (決定)
7. 能く小川内陸橋修理費を担金請求について (五、六千円出)
8. 小學校庭に梅樹栽植について (町野七平議員) 於て下り處する
9. 車堀の漏水防止に關する要望について (振興委員に現地視察する)
10. 巡査派出所設置要望について (報告)
11. 進駐軍接待場の検診について (報告)
12. 失業救済入夫に對する地下足袋貸与について (決定)

6.144 2213 167 1812 2021 23

- 13. 都道四線、線半改修先の鋪設並に溝改修につき(報告)
- 14. 田村組との特別融資の結算につき(一応解決した)
- 15. 七ヶ内より、福生病院に運ぶ道路開設につき
- 16. 警署の自動車につき(委員会附記) 警務 8
- 17. 警署の牛交駐在所の置替につき 3
- 18. 警署署敷地拡張につき(委員会附記) 警務 1
- 19. 登記所、簡易裁判所、検察庁支所誘致運動につき 2
- 20. 土木技術者登傭につき(雇傭すること決定) 7
- 21. 保育園、保母に対する年末手当につき(吾町定支給すること) 10
- 22. 消防始式の不祥な事件発生につき(団長の辞意表明につき) 5
- 23. 農林學夜誘致につき(田村福一議員提案) 9
- 24. 生活困窮者の年末見舞金につき(議長報告) 11
- 25. 消防始式への祝儀贈呈につき ()
- 26. 政務研究会につき ()
- 27. 田村福一の送迎につき(返答) 2
- 28. 西多摩郡の許り手数料につき(田村福一)

10.1

昭和三十三年一月三十一日 午後一時三十分 南会 (於第一会議室)

議長 南会と宣する 負傷工と吐瀉の迷惑をきたすと記がる。

森幸 議長、村尾議員の負傷につきの見舞の件は、全員の注するべきであるが、矢張りその常任委員長会と開催して

見舞いから承知願いたい。

町長 保育園保母に対する年末手当の件につき、人員は約十名と思ふ

一応おぼろげに示して

田村 保育園の保母も人員減少で苦勞する。そこで、附を求めようかとの話も出た(父会から)が

それも幼稚園と異なり、それは止めて、その代り、或は或るが、よりなにか堅持せよと出して

頂きたく申願します。

西村 總額どの位か

町長 約十人であるが、五千円位

西村 福生の保育園は幼稚園化して、その雇傭費、或は或るの費が、家から支拂い、附でも頂きたい。

田村 生活困難な家庭も多い。やう福な家庭費は月謝が多額である。

西村 財政面から見れば、どうにもならない。支給する範囲の決定が問題である。

町長 町村会で学校の教員に出す^{ことに決まつたが}、それはよくない。町でも一応学校とはなれんがある。そこで教員にも出すことにした。

田村 教員に支給するの根本的にはよくない。これは保母等にも個人的に持つていた者もいた。これはよくない。そこで中止させ、年末に給与は出ているが、町長は議会の意見と尊重して今年迄は持越した。保母には要求は出てない。

船木 町で教員に出さざるが父母の会では様子を見ようとしてわけが。

田村 そうではよく、今後は個人的に謝礼した。それはよくない。そこで父母の会員から分割して支給し、それが今度で教員へ支給し、それを特許なりでよくなら、保母に支給して頂きたい。

森幸 月給はどの位か。

町長 五、六十円位ではないか。

森幸 扶養手当はどうか。

町役 独身者が多いので問題にしよう。

船木 生活の根拠が保母の場合は衆もあり、時期もはずれてゐるのでどうか。

町長 生活の根拠と問題として学校の先生に手当と出たので、さういふ保母にも出せと云うのは

ふんか

田村 片手落とはなつたので、けしきと思ふが。

貫井 單純に考へて、單に儀礼的に町として、気持ちを出す程度だと思ふが、金額の真ざらした少額なものは儀礼的に真だと思ふ。

牛渡 託児所の場合には町内より一人宛一〇〇円と支給してゐる。

西村 町長の意見は。

町長 保育園の先頃の郡の会議の際に出るから、考へたので考へたが私としてはよくないと思ふ。昭和二十一年度には、こうした金は節約して、もつと公共的の用に供した。儀礼的に、真だと思ふと云ふことはよくない。町長が全般的に見てもよくない。

森幸 金額はいくらか。

町長 五百円である。

森幸 五百円位をうけると思ふ。

田村 この金額は兄貴と云ふが保母の技能と見れば兄貴とは云えな。

西村 生活の問題に關する給金は都の扱である。

田福

それは現実と理想の喰違であるこれは冗費ではな

森幸

どうした金額とふすとすれば牛込託児所も考慮する必要がある

西村

議長

それはそれは出すことによりて異議を言ふか

異議……の声あり

土木技術者

町長

土木の技術者の地方事務より照会があったので提案するか猪又

終戦により、満洲より引揚げて来た者で雇入れたと思ふか

瀬古

雇入れてその又の仕事があるか予算の支分は

町長

そう言う支分はあると思ふ

赤井

発展途上にある当町としては真に技能と有する者より早く早急に雇入れたべき

貫井

財政難は常に議題とするが私が振興委員の時も賛成であつたので是非雇入れた

議長

雇入れることについて異議を言ふか

異議……の声あり

議長

それは雇入れることにする

町長

先日消防団のお初式のお祥事の責任により、団長の辞意を志したか、影響が大きい

いつかお祭りした

志茂、牛込の巡査の派手な疊がいた人であるので取かえるよう申出があつたが

鍋屋さんは部落から寄附があつた

森誠

駐在所の地代をとつてもらったと云つて来たのであるが地代は町が拂うのではなかつたか

町長

それは調べ見る、それは町で貸してあるのですし変だ

議長

それでは町の所有が確認して、上疊を替へてよいか

西村

町が家主だから当然直してよといふのではなかつたか

本林誠

思ひで貸してあるのでは必要はない

村北

町の所有だから疊替へる雨漏り位は修理すべきだ